

学都屋台食談

第1回

株式会社苗加不動産
代表取締役

苗加 充彦氏

金沢で過ごす学生生活の意義や仕事観・人生観を、講師と学生が語り合う「学都屋台食談」を11月15日から11月25日にかけて、金沢市の片町中央味食街で開催しました。2006年から今年で14年目を迎えた食談で、講師の方々が語ったメッセージを紹介します。



のうか不動産
NOKA ESTATE Co., Ltd.

酒席で見つかる 成長へのヒント

今日は、学生の皆さんとお酒を酌み交わすのをとても楽しみにしてきました。なぜなら、このような場では、仕事だけでなく、人間的な成長にもつながるヒントをたくさん得られるからです。私は、仕事柄もあって、いろいろな人たちと酒席をともします。その中には、当社に勤める20代の社員もいれば、尊敬する大先輩の経営者もいますが、一緒に杯を傾ければ仲がぐっと近づくのに年齢も役職も関係ありません。ほどよく酔いが回れば、お互いに口も滑らかになりますし、日中は教えてくれない話を聞かせてくれたり、意外な一面を見せてくれたりすることもよくあります。

もちろん、体質や好き嫌いもありますので、お酒は飲むべきというつもりはありません。ただ、アルコールが苦手だからという理由だけで、親睦を深める機会を逃すのはもったいない。口にするのは、お茶でも構いません。人と出会い、楽しく会話する中で、人生を豊かにするヒントをたくさんつかんでほしいと思います。

グローバル化が進む今、 世界を肌で感じてほしい

人との触れ合いを通して視野を広げるという意味では、海外に出かけることもぜひおすすめします。これからの日本を考えた時、国際化が一層進んでいくのは明らかです。のうか不動産が管理するアパート・マンションを見て、ここ5、6年で海外からの入居者は一気に増え、当社には中国とマレーシア出身の社員も働いています。

超が付くほどのグローバル社会を迎えようとする今、世界の実情を知っておくことはとても大切です。しかも、ネットやテレビの情報ではなく、自分自身の肌で触れることが重要なのです。

個人的な経験で言えば、国と国の間に政治的な問題があっても、人と人との交流でわかまわりを感じたことは一度もありません。また、海外に行くことで、おもてなしの素

つまずいても、果敢に挑戦を

晴らしさなど、普段は気づきにくい日本の良さも再確認できます。50代の私でもそんなのですから、20代の皆さんならばもっともつと吸収できるはずですよ。

失敗は貴重な経験 焦らず、一歩ずつ

皆さんは今、大学や高専で学んだことをベースに、社会へと踏み出そうとする時期を迎えています。これからたくさん悩み、戸惑うことがあると思いますが、挑戦する気持ちだけは決して忘れないでください。チャレンジを繰り返す中では、失敗することもありますが、それはそれで構いません。つまずき、傷ついたとしても、人は意外と大丈夫なもの。失敗を経験に代えることで大きく成長できます。

加えて、就職を意識する年齢だからと、急いで将来に答えを出す必要もないと感じています。「もう少し、親のすねをかじって大学院で学ぶ」「世界中の国々を回ってみる」。そんな選択肢があってもいいじゃないですか。さまざまな挑戦を繰り返し、失敗する中で、焦らずに進むべき道を見つけてほしいと思います。

当社も現状に満足せず、新たなエリアに拠点を築く計画を進めています。親と子ほど年齢の離れた私たちですが、挑戦する気持ち忘れず、ともに成長し続けていきたいと思います。



講師

株式会社苗加不動産
代表取締役

苗加 充彦氏

のうか・みつひこ

1969年石川県金沢市生まれ。90年苗加不動産入社。2002年専務取締役に就任。07年より現職。



参加生

前列左から小澤優生さん(金沢大学2年)、宮島莉里朱さん(石川工業高等専門学校5年)、後列左から藤田元春さん(金城大学4年)、大橋弘明さん(金沢学院大学3年)、松田篤郎さん(金沢工業大学3年)

企画/株アドマック 編集/株都市環境マネジメント研究所